



運動会のお・も・ひ・で

〔徹底的に歩かされた行進〕

昔は運動会の練習の時間が長くて長くて…。行進の時など、横がそろうように、足がそろうようにと運動場を何回も歩かされたものです。ラジオ体操は第1と第2の2種類がありました。うわさでは第3もあると聞きましたが本当でしょうか。

〔運動会の歌〕

♡みどりのかぜに あさをよぶ♡の運動会の歌は、和歌山限定であるとは有名な話。当然のごとく歌い継がれてきたことが、実はローカル限定であったときの衝撃は、よく聞く『あるある話』ですね。郡部に勤めていたときに、歌の指導をしていた先生が、♡みぞりのかでに あさをよぶ♡と言っていたことが思い出されます。

〔ダンスの練習で先生が倒れた！〕

確か3年生の頃…。とにかくリズム感がなく集中力に欠けていた私は、やっぱりダンスの順番が覚えられなくて、担任の先生がすごい形相で怒って、いきなりフラフラと運動場に倒れてしまったのです。一緒にいた先生たちは大騒ぎ。幼心にすごく責任を感じたひとときでした。

No Image

〔お弁当の中身は〕

決まって入っていたのが梨。それも『20世紀』。それから早生(わせ)の青いミカン。そうそう、ゆで栗もあったっけ。とすると、今より運動会の日が遅かったのかな。今の定番は何でしょうか。

〔かけっこやリレーはドキドキもの〕

大勢の観客の前で走るのは、誰だって緊張します。抜かれな
いかに転ばないか、バトンを落としたりどうしようなんて思っ
ていたら、やっぱり…。ということもありました。その瞬間・光景
は、今までも頭の片隅に残っています。足の速い子をどれだけ
うらやましく思い、輝いて見えたことが。

No Image

〔組み体操の充実感〕

暑いし痛いし汚れるし、練習はけっこうつらかったけれど、運動会当日は、痛い
なんて気にならなかったことが印象に残っています。

〔赤帽の味〕

最後の校長先生の話聞きながら、赤帽のひもを口に入れると汗でしょっぱかっ
たっけ。これでやっと終わったなと、しみじみ思いながら秋空を眺めていた僕でし
た。

時代や世相を反映して、それぞれの世代の運動会は微妙にちがっています。
『変わらないために変わり続ける』という企業理念を聞いたことがありますが、
運動会もまた同じでしょう。10年先、20年・30年先、どんな運動会が四箇郷
小学校で行われているのでしょうか。そして親となった子どもたちは、わが子に何
を語っているのでしょうか。
